

2025年3月14日

株式会社町おこしエネルギー
代表取締役会長兼社長 沼田 昭二

自然放牧共生システム「ソーラージェーシング®」に関する 融資契約締結のお知らせ

2025年2月28日付にて、当社が計画する「釧路第1発電所」(北海道釧路市)、「和天別第3太陽光発電所」(北海道白糠町)について、当社グループの100%子会社である株式会社町おこしパートナーと株式会社みなと銀行との間で融資契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

なお、釧路第1発電所、和天別第3太陽光発電所は、再生可能エネルギーによる地域活性化を目的としている、当社初の営農放牧型太陽光発電、自然放牧共生システム「ソーラージェーシング®」事業となります。

記

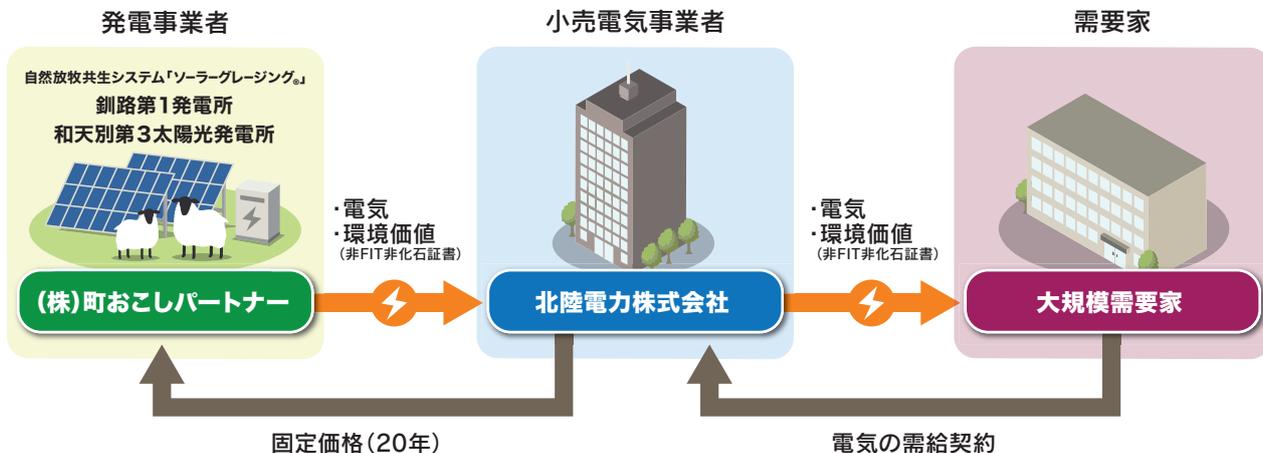
1. 融資契約を締結した目的

当社は、純国産エネルギーUP及び食料自給率UPを目標として掲げており、その目標達成のため、地熱発電(2024年3月運開)をはじめ、再生可能エネルギー資源による事業開発を行っております。

釧路第1発電所、和天別第3太陽光発電所に由来する環境価値(非FIT非化石証書)と電気は、北陸電力株式会社の顧客需要家が使用される電力再エネ化に活用され、日本の目指す温室効果ガス削減に貢献いたします。

顧客需要家に対し、クリーンな再生可能エネルギーと環境価値(非FIT非化石証書)をセットにしたオフサイトPPAのスキームを提供することで、20年間という長期間にわたり、一定価格での供給が可能となります。

この度の融資契約(借入金額:4億9600万円、借入期間:17年6ヵ月)により調達できる資金を活用し、地域の発展及び耕作放棄地削減、農地再生、CO₂削減に貢献することができればと考えております。



2. 当社の自然放牧共生システム「ソーラーグレイジング®」について

当社のソーラーグレイジング®(特許取得済み/特許第7487963号)は、自然保護および生物多様性を保存し、良好な自然環境に共生することを目的とした、日本では初となる営農(羊の放牧)を行う営農放牧型の再生可能エネルギーシステムとなります。

未来のことを大切に考え、CO₂排出の無い、クリーンな自然エネルギーとアニマルウェルフェアに配慮したストレスフリーの羊放牧を組み合わせた、これまでに無い新しい営農放牧型の再生可能エネルギーシステムとして展開いたします。昨今、問題となっている開発時の木々の伐採や抜根、切土、盛土などの乱開発を禁止とし、自然共生型の環境に配慮した再生可能エネルギーを目指します。

当社は2030年の政策目標「エネルギーミックス」に向けて、日本の純国産再生エネルギーUPを目標に、地熱発電、ソーラーグレイジング®の開発促進を行うことで、地元地域と共存共栄・地域活性事業を目指してまいります。

3. 発電所の概要(予定)

| | | |
|---------|-----------------------|-----------------------|
| 発電所名 | 釧路第1発電所 | 和天別第3太陽光発電所 |
| 事業主体 | 株式会社町おこしパートナー | 株式会社町おこしパートナー |
| 会社所在地 | 兵庫県加古川市平岡町新在家1379番地の1 | 兵庫県加古川市平岡町新在家1379番地の1 |
| 融資銀行 | 株式会社みなと銀行 | 株式会社みなと銀行 |
| 債務保証 | 公的機関による債務保証なし | 公的機関による債務保証なし |
| 発電出力 | 1.904MW(AC) | 1.924MW(AC) |
| 想定年間発電量 | 約250万kWh/年 | 約250万kWh/年 |

※事業の概要は本件発表時点での計画であり、今後変更となる可能性があります。



※ソーラーグレイジング施設イメージ

【リリースに関するお問い合わせ先】

担当者: 正岡・岡本

TEL: 079-424-5811 Eメール: info@machiokoshi.co.jp